

「かみなぎる・かごしま」の実現のために

新年、明けましておめでとございます。

県民の皆様には、かねてから、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、本格的な人口減少、超高齢化社会の到来など多くの課題に直面し、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。また都市部と地方では、社会資本の整備や所得・雇用水準などに大きな格差が見られるなど、構造改革を進める中で生じた様々な格差問題への対応が求められています。

地方行政の推進に当たっても、自己決定、自己責任の原則の下に、住民に身近な地方自治体が、その創意と工夫によって、住民の視点に立った行政を執行する地方分権型社会の実現が課題となっており、県としましても、本県が置かれた環境を十分に踏まえ、自主・自立に向けた諸改革を進める必要があると考えております。

このような時代の潮流に的確に対応するために、「県政刷新大綱」でお示した行財政構造の確立に向けた改革を引き続き着実に推進するとともに、全国第2位の農業産出額を有する農業を中心とした農林水産業の更なる振興や地域経済を支える足腰の強い産業基盤の確立、地方分権時代の地域間競争に耐えうる高速交通体系等の社会資本の整備に向けた取組など、県土全体の浮揚・発展を図っていくことが重要であります。

また、すべての人が安心して生活できる「フェアな社会づくり」を推進するため、地域間格差の是正や福祉政策等の充実、雇用環境の改善などの諸施策を実施するとともに、21

世紀の新しい地方自治の姿として、地域の自治会、ボランティア、NPO等がともに協力し、地域社会を支え合う「共生・協働による活力ある地域社会」の構築に向けた取組を推進していくこととしております。

さらに、今年3月には、概ね10年後を見据えて、目指すべき鹿児島県の姿を描くとともに、ふるさと鹿児島県の未来を拓いていくための県政の基本的な方向性をお示しする「かごしま将来ビジョン」を策定することとしており、県民の皆様が郷土に自信と誇りを持って生涯を過ごしていけるような地域社会づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

今年には鹿児島県を舞台にした大河ドラマ「篤姫」の放映や秋には「ねんりんピック鹿児島2008」が開催されるなど、例年以上に鹿児島県が全国から注目される年でもあります。その効果を最大限に生かせるような観光戦略を推進し、豊かな大自然や昔ながらの食文化、豊富な温泉など、人を元気にする「本物。」の素材があふれる鹿児島県の魅力を全国に発信していきたいと思っております。

今後、時代の趨勢をいち早くつかみながら、鹿児島県の将来を信じて、「力みなぎる・かごしま」の実現に向けて、様々な課題に果敢に挑戦していきたいと考えておりますので、引き続き、県政に御関心をお寄せいただき、県政の改革に御支援・御協力くださるようお願いいたします。

新しい年が、県民の皆様にとりまして、輝かしく幸多い年でありますことを心から祈念いたします。



平成二十年元旦
鹿児島県知事 伊藤 祐一郎